

2022年12月22日

NTTアドバンステクノロジー株式会社

「工場・ビル向け OT/IoT セキュリティサービス」を提供開始 ～工場・ビル向けのセキュリティ対策や管理にお悩みの中小規模のお客様へ、 接続機器・通信の可視化、脅威検知するためのセキュリティ対策を支援～

NTTアドバンステクノロジー株式会社（以下：NTT-AT、本社：東京都新宿区、代表取締役社長：伊東 匡）は、FortiGate*1 を利用して、OT*2/IoT 機器およびそれらの通信の可視化、脅威検知により、リスクを低減させる「工場・ビル向け OT/IoT セキュリティサービス」を 2022 年 12 月 22 日から提供開始いたします。

本サービスにより、FortiGate を用いたシンプルな機能での接続機器と通信状況の可視化を、既存ネットワークへ影響を与えずに導入いただけます。比較的小規模な工場・ビルのセキュリティ対策でお悩みのお客様に適したサービスです。

1. 提供開始の背景

近年、製造分野での DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進により、IT システムやインターネットとの接続が増えた結果、IT 機器だけでなく、OT/IoT 機器が新たなサイバー攻撃の対象として危険視されています。

国際的な標準化の動きとして、ISA（International Society of Automation）/IEC（International Electrotechnical Commission）が、産業制御システムのセキュリティ対策の国際標準である ISA/IEC62443 を発行しており、国内では、経済産業省 産業サイバーセキュリティ研究会 工場セキュリティサブワーキングにおいて、「工場システムにおけるサイバー・フィジカル・セキュリティ対策ガイドライン」が 2022 年 11 月に発表されました。

今後、製造業やビルメンテナンス業をはじめとした OT 機器を使用している企業は、これらのガイドラインに従って、情報セキュリティ対策を行っていくことが必要になります。

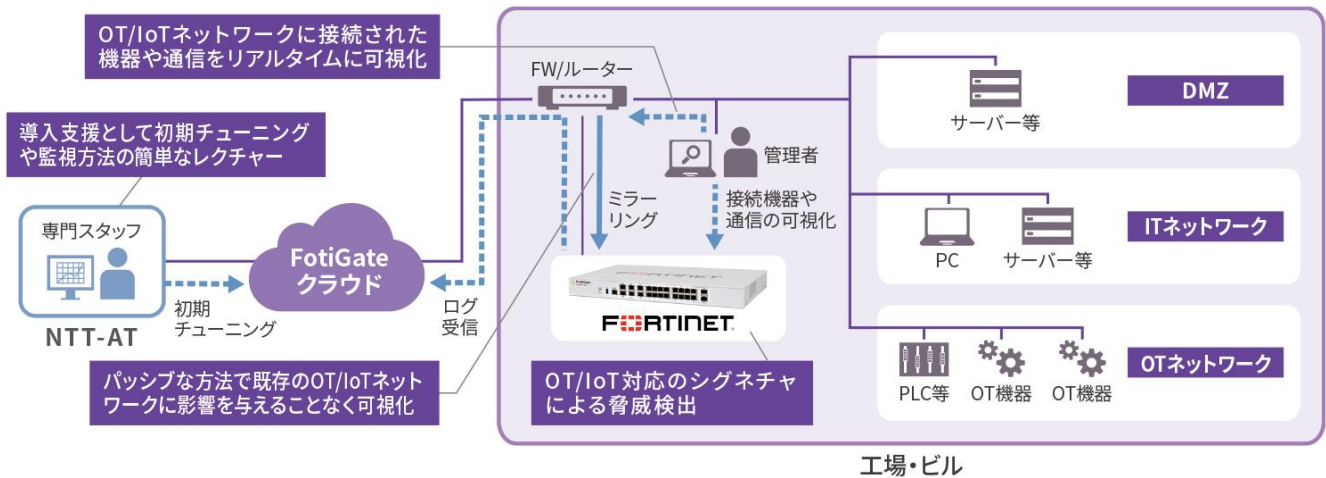
これまで、ICS（産業用制御システム）や SCADA（監視制御・データ収集システム）とネットワークの間にはエアギャップが存在していましたが今では取り払われ、IT システムや、ひいてはインターネットと接続するようになり、これらのシステムは拡大する脅威にさらされるようになりました*3。

制御システム関連のサイバーインシデントとして、制御システムを標的とするマルウェアが核燃料施設に持ち込まれ、攻撃を受けた事例などがあります。

まずは、状況を把握（可視化）できるように、既存の OT/IoT ネットワークに影響を与えることなく（お客様はミラーリングの packets を送るのように既存スイッチの設定のみで）導入いただくことが可能です。また、FortiGate を用いることで、シンプルな機能でお客様の負担なく、小規模な事業所へ提供することが可能です。

2. 「工場・ビル向け OT/IoT セキュリティサービス」について

サイバーセキュリティの脅威に対して、工場・ビルなどを運営する事業者様に、安心して事業を運営していただくため、工場・ビル内の OT/IoT の接続機器・通信の可視化、脅威検知、初期導入支援を提供します。



【サービス提供イメージ】

以下のような課題をお持ちのお客様に最適です。

(1) 工場のセキュリティ担当者などで、下記の悩みをお持ちの方

- ①接続された機器がどのような通信を行っているか把握できていない
- ②IT 端末にはウイルス対策ソフトを導入しているが、その他のモニタリングや OT 向けなどの対策を実施できていない
- ③工場のネットワークに影響を与えないで、接続された機器や通信を可視化したい

(2) 複数の事業者による機器を用いてシステムを構築しているビルのセキュリティ担当者などで、下記の悩みをお持ちの方

- ①複数の業者へ機器導入を依頼しているため、ネットワークに接続された機器の把握が難しい
- ②セキュリティリスクアセスメントを進めたいが、機器の一覧を手作業で作成するのが大変
- ③サイバー攻撃を受けているかわからない

■「OT/IoT」の接続機器・通信の可視化

工場・ビル内に FortiGate を導入し、Fortinet のクラウドと連携することで、OT/IoT ネットワークに接続された機器を可視化します。また通信の可視化で、どの接続機器からどの接続機器へ通信が行われているかを確認することができます。

■脅威検知

FortiGate の機能である OT/IoT 向けのシグネチャを利用して、脅威・異常検知時にアラートを検出することが可能です。

■初期導入支援

導入後 1 か月間、週 1 回程度の頻度で過検知・誤検知をチェックし、チェック結果およびチューニング結果をお客様へ連絡いたします。また、お客様で監視ができるように、監視方法を簡単に説明いたします。

■サービスメニュー

以下のサービスを提供します。

大項目	中項目	内容
可視化	接続機器の可視化	・ FortiGate をお客様環境に構築し、ネットワークに接続された設備を一覧表示(FortiGate 管理画面)し、お客様が管理できるようにする。 ・ 接続設備一覧を Excel などの資料更新が必要だったものを GUI でお客様が管理できるようにする。
	通信の可視化	・ 通信一覧画面でどの設備からどの設備へ通信が行われているか一覧表示 (FortiGate 管理画面) し、お客様が管理できるようにする。
脅威・異常検知	アラート表示	・ 構築時に FortiGate の機能である OT/IoT 向けプロトコルのシグネチャを設定して、脅威・異常検知時にアラートを検出できるようにする。 ・ 検出したアラートは、お客様へ通知される。FortiGate の画面でアラートを確認できるようにする。
初期導入支援	過検知・誤検知の初期チューニング	・ お客様で監視ができるように、監視方法の簡単な説明をする。 ・ 導入後 1 か月間は、週 1 回の頻度で過検知・誤検知をチェックし、チェック結果およびチューニング結果をお客様へ連絡する。

3. 主な特長

(1) OT/IoT 機器および通信のリアルタイムな可視化

OT/IoT ネットワークにどのような機器が接続されているか、どのような通信が行われているかを把握することができます。これらによって、内部犯行などのリスクを低減できます。

(2) OT/IoT 対応のシグネチャによる脅威検出

OT/IoT 機器を狙ったサイバー攻撃を検出することで、OT/IoT 機器に対するリスクを低減することができます。

(3) 既存の OT/IoT ネットワークに影響を与えないで導入可能

既存ネットワークのスイッチなどからミラーリングしたパケットを利用して、接続機器および通信の可視化、脅威検知を行うことが可能です。

※既存ネットワークにミラーリングする機能が備わっていることが前提

4. 提供開始について

2022 年 12 月 22 日

5. 提供価格について

本サービスの FortiGate1 台を導入する際の参考価格は次の通りです。

- ・ 初年度費用 (初期構築+ランニング) : 3,410,000 円 (税込) ~
- ・ 次年度以降ランニング費用 : 1,650,000 円 (税込) ~

サービスの仕様・価格は構成内容により変更になる場合があります。詳細につきましては、下記からお問い合わせください。

お問い合わせ先 : <https://www.ntt-at.co.jp/product/ot-iot/>

6. 今後の展望

NTT-AT は、本サービスを提供していく中で、お客様から運用に関する要件を確認し、サービスラインナップのさらなる拡充として、SOC と連携したサービスを提供する予定です。

■フォーティネットジャパン合同会社様からのエンドースメント

この度、NTT アドバンステクノロジー様が発表された「工場・ビル向け OT/IoT セキュリティサービス」の提供開始を心より歓迎申し上げます。

本サービスで使用される FortiGate は、SD-WAN、ゼロトラストなどの先進機能も統合された国内シェア No.1 のネットワークセキュリティアプライアンスであり、様々な OT プロトコルに対応し、信頼性高い OT セキュリティ対策としても幅広く活用されています。

この NTT アドバンステクノロジー様の新しいサービスを利用することで、お客様は負担なく迅速にサイバーセキュリティ対策を導入できるようになります。フォーティネットは、NTT アドバンステクノロジー様と共に、日々脅威が増している OT/IoT 機器に強力なセキュリティ対策を提供し、信頼できる DX を推進して参ります。

フォーティネットジャパン合同会社
サービスプロバイダービジネス本部長 加藤 郁朗

*1：米国 Fortinet 社の開発したネットワークセキュリティアプライアンス

*2：Operational Technology の略。産業オートメーションおよび制御システムのコンポーネントなどのシステムやその技術

*3：参考 Fortinet 社 「製造分野のサイバーセキュリティ」

<https://www.fortinet.com/jp/solutions/industries/manufacturing>

※記載された会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のデータは発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

本件に関するお問い合わせ先

■NTT アドバンステクノロジー株式会社

【商品に関するお問い合わせ先】

セキュリティ事業本部

セキュリティサービス&ソリューションビジネスユニット

工場・ビル向け OT/IoT セキュリティサービス担当

<https://www.ntt-at.co.jp/product/ot-iot/>

【報道関係のお問い合わせ先】

ビジネス推進部

コーポレート・コミュニケーション部門

担当：加藤・増田

